ぜん息患者教育指導者養成研修　カリキュラム

カリキュラム項目			期間	日時	開催場所	備考
1	オリエンテーション	【オリエンテーション】 ・予防事業の概要、研修の目的について ・学会による研修概要の説明	半日	8月26日（土）	東京	
2	行政アレルギー事業の講師に求められる知識や患者教育の理論・技法などについて	・患者教育のための理論を理解し、集団に対する効果的な教育プログラムの立案、実施ができるスキルを習得する。 ・相談者のニーズを的確に把握し、解決につなげるためのスキルを習得する。	2日間	8月26日（土）・8月27日（日）	東京	
			2日間	10月21日（土）・10月22日（日）	東京	
			2日間	平成30年1月13日（土）・1月14日（日）	東京	
			1日間	平成30年2月3日（土）	東京	
3	医療機関での臨床実習	・日本アレルギー学会指導医が勤務している臨床施設での研修を通して、ぜん息等アレルギー疾患に関する標準的な治療とその経過を理解する。 ・臨床における患者への効果的な指導方法を理解する。	4日間	平成29年10月2日（月）～ 平成30年1月31日（水）までの間で学会が別途指定する4日間	宮城・栃木・ 千葉・東京・神奈川・ 愛知・三重・ 滋賀・大阪・福岡	※臨床実習については、左に提示する開催場所のうち、1施設2日間を2箇所、実習に参加すること。
4	機構が主催する研修会における実践指導	・マスターレベルのPAE等と協働し、参加者への指導・講義場面を通しての実践学習をする。 ・相談や講演のアシスタント等の実践活動	2日間	11月30日（木）・12月1日（金）	大阪	※11月30日・12月1日は機構が開催する「ぜん息患者教育ｽﾀｯﾌ養成研修」に参加し、2日の実習では講師補助として参加者への指導を行う。
5	地方公共団体が主催する患者教育講習会等	・予防事業対象地域の地方公共団体が開催する事業の見学。	1日間	学会が別途指示する1日間	未定	
6	地方公共団体が行う 指導プログラムの企画・立案	・地方公共団体が行う指導プログラムの企画・立案。	1日間	平成30年2月4日（日）	東京	
			15日間			

※　各項目の講義時間は、講義内容により多少変更する場合がある。